

〔1〕 船舶局（義務船舶局を除く。）の免許の有効期間は、何年か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 3年
2. 4年
3. 5年
4. 無期限

〔2〕 次に掲げるものは、電波の型式を表示する記号であるが、振幅変調の両側波帯でアナログ信号である単一チャンネルを使用する電話のものは、どれか。

1. A3E
2. F3E
3. F1B
4. J3E

〔3〕 無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、次のうちから選べ。

1. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。
2. 無線局に備え付ける。
3. 通信室内に保管する。
4. 携帯する。

〔4〕 無線局が臨時に電波の発射の停止を命ぜられることがある場合は、次のどれか。

1. 免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用したとき。
2. 発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認められるとき。
3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えたとき。
4. 暗語を使用して通信を行ったとき。

〔5〕 電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を免許人が認めたときは、電波法の規定によりどのようにしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. その免許人を告発する。
2. その無線局の電波の発射を停止させる。
3. その無線局の免許人にその旨を通知する。
4. 総務省令で定める手続により総務大臣又は総合通信局長（沖縄総合通信事務所長を含む。）に報告する。

〔6〕 海岸局において、空電、混信、受信感度の減退等の通信状態については、電波法施行規則では、次のどれに記載しなければならないことになっているか。

1. 無線設備の保守管理簿
2. 無線局事項書の写し
3. 無線業務日誌
4. 無線検査簿

法

〔7〕 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているのは、次のどれか。

1. 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
2. 無線通信は有線通信を利用することができないときに限り行うものとする。
3. 無線通信は長時間継続して行ってはならない。
4. 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。

〔8〕 無線電話による自局に対する呼出しを受信した場合において、呼出局の呼出名称が不確実であるときは、次のどれによらなければならないか。

1. 応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりに「貴局名は何ですか」の略語を使用して、直ちに応答する。
2. 呼出局の呼出名称が確実に判明するまで応答しない。
3. 応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりに「誰かこちらを呼びましたか」の略語を使用して、直ちに応答する。
4. 応答事項のうち相手局の呼出名称を省略して、直ちに応答する。

〔9〕 無線電話通信において、「終り」の略語を使用する場合は、次のどれか。

1. 通信を終了するとき。
2. 通報の送信が終わるとき。
3. 周波数の変更を完了したとき。
4. 通報がないことを通知しようとするとき。

規

〔10〕 電波法の規定により、無線局がなるべく擬似空中線回路を使用しなければならないのは、次のどの場合か。

1. 工事設計書に記載した空中線を使用できないとき。
2. 無線設備の機器の試験を行うために運用するとき。
3. 他の無線局の通信に妨害を与えるおそれがあるとき。
4. 物件に損傷を与えるおそれがあるとき。

〔11〕 遭難呼出し及び遭難通報の送信は、応答があるまでどのようにしなければならないか、次のうちから選べ。

1. 連続して送信する。
2. 1分間の間隔をおいて送信する。
3. 時々送信する。
4. 必要な間隔をおいて反復する。

〔12〕 無線通信規則で規定している無線電話の遭難信号は、次のどれか。

1. MAYDAY
2. DISTRESS
3. PAN PAN
4. SECURITE